

議案 No.98

掘切地区津波避難マウンド整備工事請負契約の変更

問 盛り土の量と固化材（セメント）の必要量を正確に計算できなかったのか。

答 盛り土の量は、工事を進めていく中で造成、締め固めなどにより盛り土が沈降したことで、当初設計の予定数量より増加した。これにより、固化材も増加する必要がある。盛り土の材料となる山土は自然材料であることから、土の性質は様々で、大量の盛り土造成において沈降量を正確に見込むのは困難だった。

(12/7 総務産業委員会)

議案 No.99

東三河広域連合規約の変更

問 介護保険事業の保険者が東三河広域連合となり、統合されることにより、特別養護老人ホームの待機者の問題は解消されるのか。

答 保険者統合により、8市町村が一丸となることで、安定的な財政基盤が確立されることとなるため、充実したサービスが実施できるようになる。現在の待機者数は8市

町村で413人、第7期介護保険事業計画最終年度となる平成32年度の見込みは442人となっている。現在の第6期介護保険事業計画の中で整備される特別養護老人ホームの8市町村合計定員数は576人となっており、待機者問題は解決できると考えている。

(12/7 総務産業委員会)

議案 No.100

赤羽根診療所の指定管理者を渥美病院に指定

問 指定管理に係る運営管理に要する経費はどの程度見込んでいるのか。

答 指定管理者に予定されている渥美病院から事業計画書で提案された金額は、3年間の合計で1億1700万円。詳細の金額は、年度ごとに締結する協定で決定する。

(12/7 文教厚生委員会)

議案 No.105

平成28年度補正予算一般会計(第4号)

補正額 2億9411万円

補正後の額 288億7566万円

主な内容

・赤羽根診療所開設に向けた事業費の増額

・ワールドサーフィンゲームス開催に係る負担金
・移行期対応英語教育推進事業

問 赤羽根診療所開設に係る経費の内訳は。

答 工事費として、診療所内の空調とトイレの工事、医師用住宅の改修・修繕工事の費用、備品購入費として、調剤に必要な分包機や診療所内のソファ、訪問診療用の軽自動車などを予定している。

問 ワールドサーフィンゲームスの開催費用を負担金とした理由は。

答 本大会は施策として誘致したことで、市は大会開催に共催という形で支援することを考えており、一定の責任があることから、負担金として支出する。

問 ワールドサーフィンゲームス開催の負担金3000万円の根拠は。

答 実業団駅伝など、スポーツ大会への市からの支援金額は、市の財政状況を踏まえ、その大会の全体運営事業費の2割から3割程度をめどとしている。このサーフィン大会の全体費用を約1億3000万円と見込んでいるので、その約2割にあたる3000万円とした。

問 平成32年度から小学校5、6年生で英語が教科となる。移行期間における学校へのフォローは。

答 各クラスで年間35時間行われる授業に、必ずALT(※)1人が入れるように計画。ALTによる先生への研修も予定している。市内の全小学校で同じ指導、同じレベルの学習水準が保たれるよう、また、小学校の英語と中学校の英語を結びつけることに加え、先生の不安を解消するため、英語教育推進コーディネーターを設置することも考えている。

(※)小中学校などの英語の授業で日本人教師を補助し、生きた英語を子どもたちに伝える、英語を母語とする外国人。

(12/8 予算決算委員会)

陳情書を審査

提出された陳情書「国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求め陳情書」「愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書」について、12月7日の文教厚生委員会で審査を行った結果、いずれも不採択と決定しました。